

「デッドスペース」を活用する

小澤 慧大 (兵庫県立北摂三田高等学校 人間科学類型)

研究動機

デッドスペースという言葉の意味を知って自分の身の回りにも活用しきれていないスペースはないか
と思い、この研究を始めようと思った。

デッドスペースとは

簡単に言えば、

有効に活用されていない無駄な空間

「土木デザインの実践的理念と手法に関する研究」

人に「暗い」「汚い」「危ない」「寂しい」と感じさせる何かを併せ持ち、近づきたくない、好ましくない空間のこと。

デッドスペースの三要因

- ・単機能に特化した空間
- ・心理的に人を遠ざける空間
- ・人の活動を分断する空間

実習準備



- ・単機能に特化した空間
- ・ものが多くて邪魔
- ・通路がふさがっている

いろいろな物を収納できるようにかごを設置する
たくさんの物を掛けられるようにフックを増やす
<用意する物>

フック ; 網状の面、結束バンド、フック

かご ; かご、結束バンド

実習内容

フック；網状の面をもとあったフックに掛けて、左右の隅を結束バンドで止める。

かご；取り出し口が利き手と同じ（右利きなら右側）になるように結束バンドで止める。



- ・デッドスペースを活用し、通路も広げることができた
- ・作業時間も合わせて10分程度だった

アンケートをもとに

Q1；使いたいかどうか？

	使いたい	普通	必要ない
フック	14	0	1
かご	15	0	0

Q2；値段を聞いて使いたいと思うか？

	使いたい	普通	必要ない
フック	0	0	15
かご	14	0	1

アンケート解答者からの一言

- ・フックがあれば使う
- ・フックではなく机の幅を拡張してはどうか
- ・かごは掃除の時に大変そう
- ・かごはぜひ使いたい
- ・フックの位置を変える

参考文献

三省堂 大辞林 第三版

「土木デザインの実践的理念と手法に関する研究」

草刈 智一 山崎 近浩